

【現 況】



図 5-13-2(1) 梅田阪急ビルからの景観（現況）

【施設完成後】



図 5-13-2(2) 梅田阪急ビルからの景観（施設完成後）

【景観の変化の程度】

区 分	近景域
地点番号	1
地 点 名	梅田阪急ビル
<p>施設完成後には、新御堂筋東側の市街地手前に計画建物の中層部及び高層部が視認されるようになる。</p> <p>計画建物の外観、色彩等については、大阪駅周辺地区との調和を図るとともに、大阪駅周辺地区に相応しい品格ある建物となるよう計画している。また、中・高層部の形態に変化を与えることでボリューム感を抑えるとともに、コントラストの強い白系と黒系の色彩変化により、階層を三つに分節するなど、できる限り圧迫感を低減する工夫を行っている。よって、景観に違和感を与えることはないと予測される。</p>	

【現 況】



図 5-13-3(1) 新梅田歩道橋上北からの景観（現況）

【施設完成後】



図 5-13-3(2) 新梅田歩道橋上北からの景観（施設完成後）

【景観の変化の程度】

区 分	近景域
地点番号	2
地 点 名	新梅田歩道橋上北
<p>施設完成後には、曽根崎警察の上部に、計画建物の高層部が視認されるようになる。</p> <p>計画建物の外観、色彩等については、大阪駅周辺地区との調和を図るとともに、大阪駅周辺地区に相応しい品格ある建物となるよう計画している。また、高層部分は、コーナーとそれ以外の部分のデザイン・色彩等の変化や頂部デザインに変化を与えることにより分節し、ボリューム感の低減を図っている。よって、景観に違和感を与えることはないと予測される。</p>	

【現況】



図 5-13-4(1) 泉の広場北東出入口前からの景観（現況）

【施設完成後】



図 5-13-4(2) 泉の広場北東出入口前からの景観（施設完成後）

【景観の変化の程度】

区 分	近景域
地点番号	3
地 点 名	泉の広場北東出入口前
<p>施設完成後には、新御堂筋高架越しに、計画建物の中層部及び高層部が視認されるようになる。</p> <p>計画建物の外観、色彩等については、大阪駅周辺地区との調和を図るとともに、大阪駅周辺地区に相応しい品格ある建物となるよう計画している。また、中・高層部の形態に変化を与えることでボリューム感を抑えるとともに、コントラストの強い白系と黒系の色彩変化により、階層を三つに分節するなど、できる限り圧迫感を低減する工夫を行っている。よって、景観に違和感を与えることはないと予測される。</p>	

【現況】



図 5-13-5(1) 大阪駅前第三ビルからの景観（現況）

【施設完成後】



図 5-13-5(2) 大阪駅前第三ビルからの景観（施設完成後）

【景観の変化の程度】

区 分	近景域
地点番号	4
地 点 名	大阪駅前第三ビル
<p>施設完成後には、JR 大阪駅周辺のビル群の中に、計画建物の高層部が視認されるようになる。</p> <p>計画建物の外観、色彩等については、大阪駅周辺地区との調和を図るとともに、大阪駅周辺地区に相応しい品格ある建物となるよう計画している。また、高層部分は、コーナーとそれ以外の部分のデザイン・色彩等の変化や頂部デザインに変化を与えることにより分節し、ボリューム感の低減を図っている。よって、景観に違和感を与えることはないと予測される。</p>	

【現 況】



図 5-13-6(1) 扇町公園からの景観（現況）

【施設完成後】



図 5-13-6(2) 扇町公園からの景観（施設完成後）

【景観の変化の程度】

区 分	中景域
地点番号	5
地 点 名	扇町公園
<p>施設完成後には、公園緑地の背後に広がる高層ビル群の中に計画建物の高層部が視認されるようになる。</p> <p>現況において、大阪梅田地区の街並みが主な景観の構成要素となっていること、計画建物については、大阪駅周辺地区の街並みとの調和に配慮する計画であることから、景観に違和感を与えることはないと予測される。</p>	

【現況】



図 5-13-7(1) 中央公会堂前からの景観（現況）

【施設完成後】



図 5-13-7(2) 中央公会堂前からの景観（施設完成後）

【景観の変化の程度】

区 分	中景域
地点番号	6
地 点 名	中央公会堂前
<p>施設完成後には、道路脇植栽樹の背後に計画建物の高層部が視認されるようになる。</p> <p>事業計画地周辺には既に高層建築物が存在していること、計画建物については、大阪駅周辺地区の街並みとの調和に配慮する計画であることから、景観に違和感を与えることはないと予測される。</p>	

【現 況】



図 5-13-8(1) 淀川河川公園からの景観（現況）

【施設完成後】



図 5-13-8(2) 淀川河川公園からの景観（施設完成後）

【景観の変化の程度】

区 分	中景域
地点番号	7
地 点 名	淀川河川公園
<p>施設完成後には、大阪梅田地区の高層ビル群の中に計画建物の高層部が視認されるようになる。</p> <p>現況において、大阪梅田地区の高層ビル群が主な景観の構成要素となっていること、計画建物については、大阪駅周辺地区の街並みとの調和に配慮する計画であることから、景観に違和感を与えることはないと予測される。</p>	

【現 況】



図 5-13-9(1) 大阪城天守閣からの景観（現況）

【施設完成後】



図 5-13-9(2) 大阪城天守閣からの景観（施設完成後）

【景観の変化の程度】

区 分	遠景域
地点番号	8
地 点 名	大阪城天守閣
<p>施設完成後には、大阪城公園の緑地の背後に広がる大阪の市街地の一画に、計画建物の高層部が視認されるようになる。</p> <p>現況において、大阪の市街地が主な景観の構成要素となっていること、計画建物については周辺の街並みとの調和に配慮する計画であることから、景観に違和感を与えることはないと予測される。</p>	

(3) 評価

環境保全目標

景観についての環境保全目標は、「魅力ある都市景観の形成及び周辺都市景観との調和に配慮していること」、「大阪市景観計画、その他景観法及び大阪市都市景観条例等に基づく計画または施策等の推進に支障がないこと」とし、本事業の実施が事業計画地周辺の景観に及ぼす影響について、予測結果を環境保全目標に照らして評価した。

評価結果

事業計画地は、大阪市景観形成推進計画において「都市魅力景観形成地域」に含まれており、景観形成の重要性が高い地域である。本事業では大阪駅周辺地区との調和のとれた建物配置や街並み形成を図り、良好な景観形成に努める計画である。

予測結果によると、近景域では、現在の中高層ビルや高架に混じって、計画建物の中層部及び高層部が視認されるようになるが、計画建物の外観、色彩等については、周囲との調和を図ること、大阪駅周辺地区に相応しい品格ある建物となるよう計画していること、また中・高層部の形態に変化を与え、コントラストの強い白系と黒系の色彩変化により、階層を三つに分節するとともに、高層部分は、コーナーとそれ以外の部分のデザイン・色彩等の変化や頂部デザインに変化を与えることにより分節し、ボリューム感の低減を図るなど、できる限り圧迫感を低減する工夫を行っていることから、景観に違和感を与えることはないと予測された。

次に中景域及び遠景域では、事業計画地周辺には既に高層建築物が存在していること、計画建物については周辺地区の街並みとの調和に配慮する計画であることから、景観に違和感を与えることはないと予測された。

さらに、建物低層部については、曽根崎お初天神通り商店街や曽根崎中州通りに面した賑わいづくりとして、敷地南西角の交差部分に地域の賑わい・交流の場となる広場スペースを設け、できる限り広場との一体感を出すように店舗の配置やデザインなどに工夫を行う。また、歩行者空間を動線・視覚的に分断しないように配慮した街路樹・植栽帯等による緑景観の創出や旧大阪北小学校の面影を感じる外観デザインなど魅力ある街並み形成に配慮する計画である。

以上のことから、魅力ある都市景観の形成及び周辺都市景観との調和に配慮しており、また、大阪市景観計画、その他景観法及び大阪市都市景観条例等に基づく計画または施策等の推進に支障がないよう計画していることから、環境保全目標を満足するものと評価する。